

優先的な取り組み（マテリアリティ）について

マテリアリティ	顧客基盤の維持・拡大	顧客満足・サービス品質の向上	顧客の安全衛生	サービスの安定供給	気候変動	地域コミュニティの共生	
重要であると考えた理由	Daigasグループの事業は、100年以上前（ガス燈）から始まり、その後、厨房、給湯、暖房、発電と新たな用途を開発し続け、お客さまの様々な要望にお応えしてきました。また、多くのお客さまとのつながりをもとに産業ガス、不動産、情報通信、新素材、生活関連分野等に事業領域を拡大してきました。当社グループは目指す姿として「暮らしとビジネスのさらなる進化」のお役に立つ企業グループを掲げており、多くのお客さまの暮らしやビジネスをより良いものにするに努めることが、当社グループの存在意義と考えます。	お客さまに、より安全に、より快適に商品・サービスをご利用いただくため、保安・サービスの品質向上に努めるとともに、安全な使用方法について適切に情報提供を行うことが重要と考えます。	Daigasグループは、2017年3月に「長期経営ビジョン2030」、2021年3月に「中期経営計画2023」を発表しました。重大事故ゼロの継続を目標に掲げ、お客さまと社会のレジリエンス向上を目指す当社グループとして、都市ガスおよびガス設備・発電設備の安全性を確保することは、最優先の責務であり、安全性向上に向けた取り組みと万一の事故や災害に備えた体制を構築することが重要と考えます。	お客さまと社会のレジリエンス向上を目指すDaigasグループとして、都市ガスの安定供給を支えるための計画的な設備更新や導管網の整備、防災対策に努め、より高い供給安定性を確保する基礎の強化を進めることが重要と考えます。	地球規模の気候変動への対応は「持続可能な開発目標（SDGs）」の一つに位置づけられ、Daigasグループはもともと経営の重要課題の一つであり、CO2排出削減の取り組みは極めて重要な使命と考えます。	Daigasグループは、地域に根ざした事業を展開し、地域から支えられています。地域への様々な貢献が、地域と当社グループ双方の発展につながる好循環を生み出すと考えます。	
○バランサー 管理の仕組みと評価 ○指標 (GRSスタンダード対応指標)	組織内・組織外 顧客基盤の維持・拡大（お客さまアカウント数） GRSスタンダード対応：該当なし	組織内・組織外 カスタマーリレーションシップマネジメントの取り組み（お客さま満足度） GRSスタンダード対応指標：該当なし（一般開示事項 102-43）	組織内 安全性・品質レベルの維持（重大事故件数） GRSスタンダード対応指標：416-1	組織内 エネルギー供給のレジリエンス向上（発電設備形成） GRSスタンダード対応指標：該当なし	組織内・組織外 カーボンニュートラルの実現（グループCO2排出量） グリーンなエネルギーの提供と再生可能エネルギー/リユースの拡大（再生可能エネルギー電源比率、再生可能エネルギー普及貢献度） 天然ガスの高効率利用と環境材料の普及（CO2排出削減貢献度） GRSスタンダード対応指標：302-1、305-5	組織内・組織外 地域とのコミュニケーション（行政活動（まちづくり構想等）への参画、地域との共創回数） GRSスタンダード対応指標：413-1	
○方針	「Daigasグループ企業理念」に基づき、事業活動に結びつけて、目指す姿を実現します。 (国際・国内基準等) ・ガス事業法 ・民法 ・消費者基本法 ・個人情報保護法 (社内方針・基準等) ・Daigasグループ企業理念 ・保安業務規程 ・顧客サービス業務規程	製造物責任法（PL法）やガス事業法に則り、「顧客先保安業務規程」「製品安全自主行動計画」等を策定し、各顧客接点業務における保安・サービスの品質向上に努めています。 (国際・国内基準等) ・ガス事業法 ・製造物責任法（PL法） (社内方針・基準等) ・家庭用ガス機器の製品安全自主行動計画 ・保安業務規程 ・顧客サービス業務規程	ガス事業法に則り、「保安規程」等を策定し、主要製品である都市ガスの品質や安定供給、ガス設備・発電設備の安全性の確保に努めています。 (国際・国内基準等) ・ガス事業法 ・災害対策基本法 (社内方針・基準等) ・Daigasグループ企業行動基準 ・Daigasグループ企業行動基準 ・保安規程	ガス事業法に則り、「保安規程」等を策定し、都市ガスの安定供給、ガス設備の安全性の確保に努めています。 (国際・国内基準等) ・ガス事業法 ・災害対策基本法 (社内方針・基準等) ・Daigasグループ企業行動基準 ・保安規程 ・防災業務計画	Daigasグループは、2021年1月に「Daigasグループカーボンニュートラルビジョン」の策定・公表を行い、2050年に向けカーボンニュートラルへの挑戦を掲げ、低・脱炭素社会の実現に努めます。 (国際・国内基準等) ・ISO14001 ・GHGプロトコル ・エネルギーの使用の合理化等に関する法律 ・地球温暖化対策の推進に関する法律 (社内方針・基準等) ・Daigasグループ企業行動基準 ・Daigasグループ環境方針 ・環境管理に関する規程	「Daigasグループ企業行動基準」を策定し、社会課題に関心をもち、社会の一員として当然果たすべきこととして、都市開発・まちづくり構想等に働きかけや、ステークホルダーとの共創による地域活性化に取り組んでいます。 (国際・国内基準等) ・ISO26000 (社内方針・基準等) ・Daigasグループ企業行動基準	
マネジメント手法	「顧客の安全衛生」「顧客満足・サービス品質の向上」の体制に加えて、各お客さまを担当する各組織が責任を持って業務を推進しています。	「顧客の安全衛生」の体制に加え、「顧客サービス業務規程」に則り、エナジーソリューション事業部業務部長が顧客満足向上活動の基本方針を企画し、担当組織の各組織長が具体的な施策を策定し実行しています。	平時時から社会構造的にガバナンスを発揮する体制を構築し、保安・防災・ガスの供給安定にかかわる事象を一元的に管理、施策推進することを目的に、全社委員会として「保安・防災委員会」を設置しています。	「顧客の安全衛生」同様の保安推進体制です。	Daigasグループでは、各事業におけるGHG排出削減、再生可能エネルギーの利用・普及拡大に対し、指標・目標を用いて、環境部会、ESG推進委員会、ESG推進会議（経営会議）で報告・フォローし、PDCAサイクルにより管理しています。	「ESG推進委員会」のもとに「社会貢献部会」を設置し、グループ内の社会貢献について横断的な活動の計画を審議および報告しています。	
○体制							
○評価（2022年度）	お客さまアカウント数は、ガス・電力供給契約や安全・保証等のサービス契約等の件数です。2022年度は新規サービス開拓等により、お客さまアカウント数は1,002万件伸び、長期経営ビジョンにおいて2030年の目標とされた1,000万件に到達しました。	大版ガスでは、お客さま満足度の向上を目指し、1988年度から「お客さま満足度調査」を実施しています。調査の対象は、お客さまに直接対応する7つの業務です（開栓、機器修理、機器販売施工付き、など）。各業務完了後にアンケートにてお客さま評価を回収いたし、集計しています。「総合満足度」は、満足度が6段階のいずれに該当するかを問い、上位2段階に相当する評価の全体に占める割合です。2022年度は33,400件のアンケート回答をいただき、5業務の総合満足度は90%と、昨年度実績（92%）から低下しました。新型コロナウイルス感染症拡大等の影響と世界的な電子部品の供給不足により、お客さまの一部商品の納品が遅れが生じ、これが長期化した影響と考えられています。	2022年度においても法令・社内基準に基づき、ガス製造事業における都市ガスの品質管理、ガス供給事業におけるガス設備の安全点検を実施し、重大事故ゼロを継続しました。なお、負傷者の発生や供給への影響はな重大事故には至っていませんが、当社の関係会社が建設・試運転中であった袖ヶ浦（イオマス発電所の燃料貯蔵サイロで）火災が発生しました。	経済産業省の「ガス安全高度化計画」に基づき、耐震性のある配管の全体に占める割合を耐震化率の向上を図るとともに、緊急対策（二次災害防止の取り組み）によるガスの遮断や閉鎖の範囲を縮めるため、供給ブロックの細分化を進めています。震災に際しては、耐震性の高いガス管の導入促進、ガス設備の耐震性向上に努めています。経年ガス導管については計画的な改修し、耐震性に耐えられたポリエチレン（PE）管の導入を進め、尚食のおそれのあるお客さまの古い埋設ガス管について積極的に改修の提案活動を進めています。「なぞみ錆鉄管（要対策導管）」については、2020年度から2015年度に倒壊し対策を完了しました。引き続き「なぞみ錆鉄管（維持管理導管）」や「腐食劣化対策管」の対策を行っています。緊急対策（二次災害防止の取り組み）では、地震などの災害が起こった場合に、ガス漏えいによる二次災害を防止するため、ガス遮断するシステムを構築しています。	「ET2030」を発表し、2030年度におけるグループCO2排出削減目標の全体に占める割合を示す耐震化率の向上を図るとともに、緊急対策（二次災害防止の取り組み）によるガスの遮断や閉鎖の範囲を縮めるため、供給ブロックの細分化を進めています。震災に際しては、耐震性の高いガス管の導入促進、ガス設備の耐震性向上に努めています。経年ガス導管については計画的な改修し、耐震性に耐えられたポリエチレン（PE）管の導入を進め、尚食のおそれのあるお客さまの古い埋設ガス管について積極的に改修の提案活動を進めています。「なぞみ錆鉄管（要対策導管）」については、2020年度から2015年度に倒壊し対策を完了しました。引き続き「なぞみ錆鉄管（維持管理導管）」や「腐食劣化対策管」の対策を行っています。緊急対策（二次災害防止の取り組み）では、地震などの災害が起こった場合に、ガス漏えいによる二次災害を防止するため、ガス遮断するシステムを構築しています。	「ET2030」を発表し、2030年度におけるグループCO2排出削減目標の全体に占める割合を示す耐震化率の向上を図るとともに、緊急対策（二次災害防止の取り組み）によるガスの遮断や閉鎖の範囲を縮めるため、供給ブロックの細分化を進めています。震災に際しては、耐震性の高いガス管の導入促進、ガス設備の耐震性向上に努めています。経年ガス導管については計画的な改修し、耐震性に耐えられたポリエチレン（PE）管の導入を進め、尚食のおそれのあるお客さまの古い埋設ガス管について積極的に改修の提案活動を進めています。「なぞみ錆鉄管（要対策導管）」については、2020年度から2015年度に倒壊し対策を完了しました。引き続き「なぞみ錆鉄管（維持管理導管）」や「腐食劣化対策管」の対策を行っています。緊急対策（二次災害防止の取り組み）では、地震などの災害が起こった場合に、ガス漏えいによる二次災害を防止するため、ガス遮断するシステムを構築しています。	「ET2030」を発表し、2030年度におけるグループCO2排出削減目標の全体に占める割合を示す耐震化率の向上を図るとともに、緊急対策（二次災害防止の取り組み）によるガスの遮断や閉鎖の範囲を縮めるため、供給ブロックの細分化を進めています。震災に際しては、耐震性の高いガス管の導入促進、ガス設備の耐震性向上に努めています。経年ガス導管については計画的な改修し、耐震性に耐えられたポリエチレン（PE）管の導入を進め、尚食のおそれのあるお客さまの古い埋設ガス管について積極的に改修の提案活動を進めています。「なぞみ錆鉄管（要対策導管）」については、2020年度から2015年度に倒壊し対策を完了しました。引き続き「なぞみ錆鉄管（維持管理導管）」や「腐食劣化対策管」の対策を行っています。緊急対策（二次災害防止の取り組み）では、地震などの災害が起こった場合に、ガス漏えいによる二次災害を防止するため、ガス遮断するシステムを構築しています。
マテリアリティに関連する具体的な取り組み（2022年度）	2022年度は電気料金「応援プラン」の新設やサービスプラットフォーム「スマイルLNK」のサービス拡大を実施し、お客さまとの最適なサービス・ソリューションの展開に取り組みしました。また、海外エネルギー事業についてもガス供給契約、エネルギーサービス契約、屋根置き太陽光発電電線の稼働などにより、新規契約を増やしました。	より高いサービス水準を目指し、業務ごとにマニュアルを作成、共有化するとともに、管理者、担当者向けの研修を通じて啓発活動を行っています。供給の改善とともに、お客さまの声をもとにした接点業務の改善に努めました。さらなる幅広いお客さまの声の収集を目的に、より多くのお客さまにアンケートの回答を促したところ、改善を進めています。引き続き、お客さまからいただいた声をもとにおさま視点に立ったサービスの提供に取り組んでいます。	都市ガスの品質・安全性の確保 都市ガス製造所においては、都市ガスの品質が、法令に基づき大版ガスが設定した基準等に合致しているかどうかを日々確認するとともに、ガス漏えいのガス保有量やガスの供給圧力をリアルタイムに集中管理しています。 導管等の点検 導管、配管等の供給設備の安全性を確保するため、「保安規程」で定める頻度および内容で点検を行っています。 防災・安全訓練 災害・事故対応能力の向上に向け、様々な訓練や安全活動・教育を実施しています。	大版ガスネットワーク（株）では、予防対策（地震に強い設備の普及促進）として、耐震性の高いガス管の導入促進、ガス設備の耐震性向上に努めています。経年ガス導管については計画的な改修し、耐震性に耐えられたポリエチレン（PE）管の導入を進め、尚食のおそれのあるお客さまの古い埋設ガス管について積極的に改修の提案活動を進めています。「なぞみ錆鉄管（要対策導管）」については、2020年度から2015年度に倒壊し対策を完了しました。引き続き「なぞみ錆鉄管（維持管理導管）」や「腐食劣化対策管」の対策を行っています。緊急対策（二次災害防止の取り組み）では、地震などの災害が起こった場合に、ガス漏えいによる二次災害を防止するため、ガス遮断するシステムを構築しています。	「Daigasグループカーボンニュートラルビジョン」の実現に向け、脱炭素化普及促進として、耐震性の高いガス管の導入促進、ガス設備の耐震性向上に努めています。経年ガス導管については計画的な改修し、耐震性に耐えられたポリエチレン（PE）管の導入を進め、尚食のおそれのあるお客さまの古い埋設ガス管について積極的に改修の提案活動を進めています。「なぞみ錆鉄管（要対策導管）」については、2020年度から2015年度に倒壊し対策を完了しました。引き続き「なぞみ錆鉄管（維持管理導管）」や「腐食劣化対策管」の対策を行っています。緊急対策（二次災害防止の取り組み）では、地震などの災害が起こった場合に、ガス漏えいによる二次災害を防止するため、ガス遮断するシステムを構築しています。	「行政活動（まちづくり構想等）への参画 ・まちづくり提議を連れた自治体によるSDGs推進活動の支援 ・各種団体・自治体主催の審議会・委員会等への参画、提議 ■地域との共創 ・都市の魅力づくりに関する第三者との研究活動 ・自治体・NPO等と連携した高齢者活動支援 ・NPOや社会起業家の協働活動 ・「マイアロUSHOWCASE関西」を通じた社会課題の発信 ・「マイ大阪ガソシal Design+」によるNPO支援 ・「小さな灯」運動主催「ふれあいびびー」等の開催 ・行政・第三者と連携した地域活性化活動 （Talkin' About, Walkin' About）」	

優先的な取り組み（マテリアリティ）について

マテリアリティ	サプライチェーンマネジメント	コンプライアンス	従業員エンゲージメント	従業員の能力開発	ダイバーシティ&インクルージョン																				
重要であると考え理由	広範囲にわたる都市ガスソリューションは様々なお取引先のご協力により成り立っています。ソリューションにかかわるお取引先とともに社会的責任を果たすことが、ステークホルダーとの信頼構築、ひいてはソリューション全体の発展につながるかと考えます。	Daigasグループは、コンプライアンスとは法令遵守を中心としつつ、健全な倫理観に基づく良識ある企業行動を実践することと考えています。ステークホルダーからの信頼維持には、役員・従業員が確実に実践することが必要不可欠です。	Daigasグループでは「Daigasグループ企業理念」においてグループの宣言として、「お客さま価値」の創造を第一に、「社会価値」「株主さま価値」「従業員価値」の創造につなげることを宣言しています。人的・知的資本は「価値創造の源泉」であり、やがてこれを持って仕事に挑戦できる職場風土の醸成とそれらを推進する良いい施策を講じることが重要と考えます。	「Daigasグループ企業理念」においてグループの宣言として、「お客さま価値」の創造を第一に、「社会価値」「株主さま価値」「従業員価値」の創造につなげることを宣言しています。人的・知的資本は「価値創造の源泉」であり、やがてこれを持って仕事に挑戦できる職場風土の醸成とそれらを推進する良いい施策を講じることが重要と考えます。	ビジネスフィールド拡大に向けて、誰もが活躍できる環境構築としてダイバーシティの推進が重要と考えます。「Daigasグループダイバーシティ推進方針」に基づき、性別・年齢・障がいの有無・国籍など多様な属性を持つメンバーで自由闊達な議論がなされる環境の整備とともに、誰もが能力を発揮できる会社や組織に変革していくことが不可欠です。																				
○バウンス率	組織内・組織外	組織内	組織内	組織内	組織内																				
管理の仕組みと評価 ○指標 (GRSスタンダード対応指標)	責任あるサプライチェーンの構築（適切な新規サプライヤー比率） GRSスタンダード対応指標：308-1、414-1	グループコンプライアンスの推進（重大な法令違反件数） GRSスタンダード対応指標：307-1、418-1、419-1	働きがいのある職場づくり（従業員意識調査） GRSスタンダード対応指標：該当なし（一般開示事項 102-43）	働きがいのある職場づくり（従業員1人当たりの年間平均研修時間） GRSスタンダード対応指標：404-1	ダイバーシティ&インクルージョンの実現（女性の役員比率・管理職昇格比率・総合職採用比率） GRSスタンダード対応指標：405-1																				
○方針	国連グローバル・コンパクトに対応した「Daigasグループ企業行動基準」に基づき、お取引先とともに社会的責任を果たす取り組みを進めています。Daigasグループでは、「Daigasグループ調達方針」を定め、「Daigasグループ取引先」の皆さまへのお願いとともにお取引先に周知しています。 〈国際・国内基準等〉 ・国連グローバル・コンパクト ・世界人権宣言 ・不正競争防止法 〈社内方針・基準等〉 ・Daigasグループ企業行動基準 ・Daigasグループ調達方針 ・Daigasグループ取引先へのお願い	〈国際・国内基準等〉 ・国連グローバル・コンパクト ・世界人権宣言 ・不正競争防止法 〈社内方針・基準等〉 ・Daigasグループ企業行動基準 ・Daigasグループ調達方針 ・内部監査規程 ・個人情報保護規程 ・プライバシーポリシー（お客さま・株主さま等の情報の取扱いについて）	働きがいのある職場づくり（従業員意識調査） GRSスタンダード対応指標：該当なし（一般開示事項 102-43） 仕事を通じて人的成長を回ることができる企業を目指し、従業員の個性と自主性を尊重した人事制度の充実ならびに、従業員の安全の確保と健康な心身の維持向上や多様な人材が活躍できる職場づくりに努めています。 〈国際・国内基準等〉 ・国連グローバル・コンパクト ・労働基準法 ・次世代育成支援対策推進法 ・女性活躍推進法 〈社内方針・基準等〉 ・Daigasグループ企業行動基準 ・Daigasグループダイバーシティ推進方針 ・Daigasグループ人権方針	働きがいのある職場づくり（従業員1人当たりの年間平均研修時間） GRSスタンダード対応指標：404-1 「Daigasグループ企業行動基準」を策定し、安心して働ける職場づくりを掲げ、多様な人材が能力を発揮できるように従業員の個性を尊重し、キャリア形成や能力開発に取り組んでいます。 〈国際・国内基準等〉 ・国連グローバル・コンパクト ・次世代育成支援対策推進法 ・女性活躍推進法 〈社内方針・基準等〉 ・Daigasグループ企業行動基準 ・Daigasグループダイバーシティ推進方針	「Daigasグループダイバーシティ推進方針」を策定し、多様な人材が差別されることなく「尊重し合い承認することで多様な価値観を受容できる企業グループ」を目指し、新しい価値を生み出せる強かな組織づくりに努めています。 〈国際・国内基準等〉 ・国連グローバル・コンパクト ・次世代育成支援対策推進法 ・女性活躍推進法 〈社内方針・基準等〉 ・Daigasグループ企業行動基準 ・Daigasグループダイバーシティ推進方針 ・Daigasグループ人権方針																				
マネジメント手法	購買活動については、上記の基準や指針に則り、購買を担当する各組織が責任を持って進めています。	「ESG推進委員会」のもとに「コンプライアンス・リスク管理委員会」を設置し、組織横断的な施策検討・情報共有化等を行っています。グループ全体のコンプライアンス推進は総務部コンプライアンス室が行っており、大阪ガスの各事業部とカンパニー※、中核会社にて「コンプライアンス統括」を、大阪ガスの各組織と各関係会社では「コンプライアンス推進責任者」が「コンプライアンス推進担当者」を委任し、グループ全体でコンプライアンス向上に取り組んでいます。	「従業員の能力開発」の体制に加えて、労働災害の防止、健康の保持推進として施策の検討と情報の共有化を図るため、「Daigasグループ安全健康会議」を設置しています。	大阪ガスでは、全ての従業員に育成管理者である上司との面談を通じて「役割」と「期待」を明示し、育成コースを従業員自らからコースエントリーを行う人事制度を導入しています。育成コース別の研修体系に加え、若年層・中堅社員層・マネジメント層等の各階層別の各種研修プログラムや、自己選択型研修を充実させるなど、役職や職種に応じた多様な研修を実施しています。さらに、グローバルに活躍できる人材を育成するため、海外派遣や海外ビジネストレーニングを実施しています。	ダイバーシティ機会均等については、国連グローバル・コンパクトや各法令、「Daigasグループダイバーシティ推進方針」に則り、採用・人材育成・職場環境の整備等、各組織があらゆる機会において取り組んでいます。																				
○体制				<table border="1"> <thead> <tr> <th>人事課</th> <th>全社社員層の育成を主導</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各組織</td> <td>組織固有業務（業務専門性・資格取得等）の育成を主導</td> </tr> <tr> <td>上司</td> <td>育成責任者</td> </tr> <tr> <td>新人指導員（PTA）</td> <td>入社から3年間の育成推進者</td> </tr> <tr> <td>組織統括</td> <td>育成状況の確認とレポート</td> </tr> </tbody> </table>	人事課	全社社員層の育成を主導	各組織	組織固有業務（業務専門性・資格取得等）の育成を主導	上司	育成責任者	新人指導員（PTA）	入社から3年間の育成推進者	組織統括	育成状況の確認とレポート											
人事課	全社社員層の育成を主導																								
各組織	組織固有業務（業務専門性・資格取得等）の育成を主導																								
上司	育成責任者																								
新人指導員（PTA）	入社から3年間の育成推進者																								
組織統括	育成状況の確認とレポート																								
○評価（2022年度）	当社グループの広範囲にわたる都市ガスソリューションは様々なお取引先のご協力により成り立っています。ソリューションにかかわるお取引先とともに社会的責任を果たすことが、ステークホルダーとの信頼構築、ひいてはソリューション全体の発展につながるかと考えます。当社グループでは、「Daigasグループ調達方針」を定め、資材購買等の新規取引の開始に際して「Daigasグループ取引先」の皆さまへのお願いとともにお取引先に説明し、ご理解をいただいています。2022年度の資材購買等における新規お取引先は27社で、環境・社会への影響、人権、労働慣行の各基準に基づき、新規のお取引先は全て適切に開始されました。	当社グループは、コンプライアンスとは法令遵守を中心としつつ、健全な倫理観に基づく良識ある企業行動を実践することと考えています。ステークホルダーからの信頼維持には、役員・従業員が確実に実践することが必要不可欠です。コンプライアンスを確実に実践するために、2022年度は重大な法令違反はありませんでした。	大阪ガスで従業員満足度に関する意識調査の内容を2021年度に見直し、グループ全体での従業員エンゲージメントが把握できるよう、新たに「従業員意識調査」を設計し、調査を実施しました。大阪ガス、関係会社において世間水準より高いことを確認しました。意識調査結果は年代別や組織別等の分析を行い、把握した課題への対策を進めています。	従業員の能力開発については、目標管理制度（MBO）に基づき、上司との面談等によって定期的なフォローアップ評価を行い、各自の自発的な成長意欲、勤めづらと将来の育成計画に役立てています。2021年度の従業員1人当たりの年間平均研修時間については、下記のとおりです。 従業員1人当たりの年間研修時間：26.3時間/人 e-ラーニング※（保安、情報セキュリティ、環境、DX等）の受講時間：5.83時間/人 ※一部派遣社員、アルバイトを含む	大阪ガスでは、2030年に掲げた各目標達成に向け、女性活躍の取り組みを推進しています。2022年度については、多様なキャリアや価値観の尊重を意識し、個に寄り添った施策の展開に努めました。職員やソリューションのダイニングに応じた研修や、管理職研修での個別マネジメントの重要性の周知、男性の育児休業取得促進など、女性活躍目標達成に向けて多方向から取り組みを進めています。なお、2023年6月時点の女性役員比率は26.7%、女性取締役比率は20.0%でした。																				
マテリアリティに関連する具体的な取り組み（2022年度）	2022年度も主要なお取引先へアンケートを行うなど、お取引先とともに社会的責任を果たし、ソリューション全体の相互発展に努めていました。 ■ サステナビリティ活動に関するアンケート調査等の実施状況（2022年度） <table border="1"><thead><tr><th>対象</th><th>対象数</th><th>回答数</th><th>その他取り組み</th></tr></thead><tbody><tr><td>資材購買主要お取引先</td><td>146社</td><td>146社</td><td>「グリーンパートナー制度」の推進</td></tr><tr><td>ガス顧客メーカー</td><td>36社</td><td>36社</td><td></td></tr><tr><td>サービスチェーン・工事会社</td><td>205社</td><td>165社</td><td></td></tr><tr><td>LNG調達先</td><td>8社</td><td>6社</td><td></td></tr></tbody></table>	対象	対象数	回答数	その他取り組み	資材購買主要お取引先	146社	146社	「グリーンパートナー制度」の推進	ガス顧客メーカー	36社	36社		サービスチェーン・工事会社	205社	165社		LNG調達先	8社	6社		2022年度調査結果は、従業員企業理念や行動憲章、行動基準に対する認知・理解が前年度より向上しました。引き続き、従業員一人ひとりの浸透活動に取り組む、コンプライアンスの推進に努めます。	2022年度調査は、大阪ガスでは社員5,769人が回答し、回答率は92.5%、関係会社では従業員7,305人が回答し、回答率は89.9%でした。会社に対する現時点の満足度を表す「総合満足度」、会社への愛着度を表す「ロイヤリティ」、当社で働き続ける意思を表す「勤続意思」、友人や知人への会社の推奨度を表す「推奨意向」の4指標を評価指標としました。	大阪ガスでは、個々の能力開発に向けた多様な教育プログラムの提供により、急速に変化するビジネス環境においても活躍できる人材の育成を重要視しています。各階層別の各種研修プログラムや、自己選択型研修を充実させるなど、役職や職種に応じた多様な研修を実施しています。2022年度も年間を通じて計画的に研修を実施し、e-ラーニングでは1講座あたり5,264人が受講しました。	<ul style="list-style-type: none"> ■採用 ■女性学生の向け採用活動を強化する ■ダイバーシティセミナーとして女性のキャリアパスや活躍環境の紹介、リカセナへの開催 ■採用ウェブサイト…女性キャリアの掲載 ■育成 ■女性社員のキャリア形成をサポートするために仕事と育児の両立イメージ形成を含めたキャリア教育を継続して実施する ■異動活用…本人に適した個別育成プランを基にした異動・登用 ■キャリア教育…メンタリングプログラム、若手女性面談、社外研修への派遣・上司向け…新任・新任管理者研修、ダイバーシティ推進フォーラム（有識者講演およびワークショップ）開催 ■職場 ■ライフイベントがキャリアの途絶えならぬための環境を整備する ■育児…「育児ランチセッション」を開催/育児勤務者研修×上司フォーラムの開催/休業者、復職者のイトラでのネットワークング/育児休業者懇話会の開催/男性向け仕事・育児の両立セミナーを開催（ダイバーシティ西日本勉強会） ■風土…メールニュース、社内WEB広報誌の継続配信による情報提供/効率的な働き方推進」の継続実施
対象	対象数	回答数	その他取り組み																						
資材購買主要お取引先	146社	146社	「グリーンパートナー制度」の推進																						
ガス顧客メーカー	36社	36社																							
サービスチェーン・工事会社	205社	165社																							
LNG調達先	8社	6社																							